

## 学びのデザインシート（授業前）

### アクティブラーニングを中心とした主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想 【商業科／広告と販売促進】

#### 1. 対象

2年選択の授業である。授業に対して前向きで主体的に取り組む生徒が多い。実習が多い科目のため、自分の意見を求められ発言することが多いが、積極的に取り組むことができる。

本科目では、グループワークを円滑にするためのファシリテーション能力の育成に力を入れており、今学期は大学で「ファシリテーション」の講座を受講した学生と高大連携授業を実施し、グループワークの質の向上を目指している。その授業から、グループワークを行う際に、「相手の意見に耳を傾けること、笑顔で接すること、大きな声で話すこと」の大切さを学び、グループワークの約束事として授業を行っている。会議の中心となるファシリテーターにも積極的に立候補するなど、生徒の主体性がみられるため、その前向きな取り組みを引き出しながらアクティブラーニングを軸とした授業を展開していきたい。

#### 2. 単元名 「地域の活性化」

3. 単元目標 観光振興とまちづくりとの関係など観光ビジネスの展開と効果に関する知識などを基盤として、消費者の動向、観光による地域の活性化に関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、地域活性化に向けた観光ビジネスの展開について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにすることを狙いとする。

4. 本時の目標 清水港周辺の海洋文化の拠点づくりにおける清水のブランド力の向上等を考えていく中で、地域には観光資源の多く存在していることを理解し、地元清水における清水港周辺の海洋文化の拠点づくりへの関心ある態度を育成する。

#### 5. 授業展開

##### 解決したい課題や問い

- ・みんなにアピールしたい「静岡市」の魅力ってなんだろう
- ・日本中から訪れてみたくなる「清水港周辺」のまちづくりを考えてみよう。

##### 考えるための材料

【地図】	【資料】	【ノート】
清水区内（清水港周辺）の白地図 ・ 幹線道路の記入 ・ 大規模店舗立地法に関わる大きな施設のチェック ・ 公共施設や駅のチェック	・ 清水区内の消費者等のデータ ・ 静岡市第3次総合計画 ・ 広報静岡（静岡市5大構想）	ここまでの講演、授業で学んだことをまとめた資料

##### 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- <対話>  
ブレインストーミングとKJ法
- <思考>  
根拠に基づいて清水港周辺の観光振興策について考える。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）	
<ul style="list-style-type: none"><li>・「静岡市」の魅力を見直し、静岡市における様々な観光資源に目をむけることができる。</li><li>・静岡市が実際におこなっている観光政策や、今後の地域の発展について関心を持つことができる。</li><li>・科学的な根拠に基づいて、観光資源と観光政策を関連付けながら自分なりの清水港周辺開発についての考えを持つことができる。</li></ul>	
育成すべき資質・能力三つの柱から上記のあらわれを評価するための視点	
① 知識・技能	静岡市の政策、観光資源における基礎的・基本的な知識を活用し、それぞれの観光政策について考えることができているか。
② 思考力・判断力・表現力	事前に学習資料を基に、観光政策における基礎的・基本的な知識を活用して、グループ活動の中で表現することができているか。
③ 主体性・学びに向かう力 協働性など	ファシリテーションを意識しながら、グループ内で自分の意見をしっかり持ち、他の意見を取り入れながら、広い視野の中で観光政策を考えることができているか。